

項目名	役割	行動指針	実施時期
北海道の野生動物復元プロジェクト	2	2	18年度

概要

○展示の目的、伝えたいメッセージ

北海道に生息する希少動物であるオオワシやシマフクロウを、他の動物園や研究・活動機関と連携しながら円山動物園の繁殖技術で復元し、鷹匠技術により飛行訓練を行い、自然界に放鳥・野生復帰させることに挑戦する。

また、北海道の中でも開発が進んだ札幌市においては特に野生動物の減少が著しい状況にあり、動物園敷地に隣接する円山原始林や円山川、円山公園との連続性の中で、札幌の原風景を取り戻すためにエゾリスやエゾモモンガ、オオムラサキ、オニヤンマ、ニホンザリガニなど身近な動物の繁殖や自然への復元を市民とともに取り組んでいく。

○展示方法の工夫

自然への復元作業を市民・企業・大学等他の研究機関とともに横断的な連携で実行していくとともに、環境教育プログラムとして観察会などを行い、自然の生態系との調和の必要性や復元作業自体を市民に普及することを促進する。

スケジュール

オオワシ、シマフクロウ等

- (19年度～) 環境省、ロシア政府、研究者等との調整
- (20年度) 繁殖用ケージ、トレーニングケージの建設
放鳥計画の策定、放鳥の許可申請
- (21年度～) 放鳥

オオムラサキ

- (19年度～) 園内での生息環境調査、観察会、特別公開
- (20年度～) エゾエノキの苗育成、展示用エゾエノキの鉢整備

オニヤンマ、ニホンザリガニ等

- (19年度) ビオトープ協議会設立、ビオトープ基本設計、ザリガニ展示
- (20年度) ザリガニ繁殖計画策定、ビオトープ造成
- (21年度～) ビオトープ運営管理

参考図表等

			
オオワシ	シマフクロウ	オオムラサキ	ニホンザリガニ

項目名	役割	行動指針	実施時期
種の保存に向けた絶滅危惧種の園内繁殖	2	2	18年度

概要

現在、地球上では1年に数万種のペースで生物が絶滅していると考えられている。円山動物園では、日本で初めて繁殖に成功した園に贈られる日本動物園水族館協会の繁殖賞をこれまで23種の動物について受賞しており、高い繁殖技術を有しているとともに、ホッキョクグマなど希少動物34種(2007年10月末現在)を飼育している。今後も、種の保存に向けた取組として国内外の動物園や研究機関と連携しながら、絶滅が危惧される動物を積極的に繁殖し、飼育下において個体数の維持、増加を図る。このため、従来からのいわゆる「一頭飼い」から「ペア飼い」又は「群れ飼い」を原則とし、エンリッチメントにも十分配慮しながら、繁殖に適した飼育環境の確保に努めていく。また、個々の動物種が絶滅の危機に陥った生息域での状況を明確に説明し、環境保全に対する意識を喚起していく。

<取組事例>

ホッキョクグマ(雄1、雌2飼育)

地球温暖化の影響により国際自然保護連合(IUCN)レッドリスト2006年版から絶滅危惧種に指定された。

2000年以降、国内では唯一、円山動物園だけで自然繁殖・生育に成功している。

【実績】 ツヨシ(2003年,雄)、ピリカ(2005年,雄)

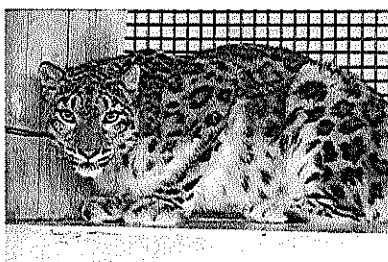
スケジュール

随時

参考図表等



ホッキョクグマ ピリカ



ユキヒョウ リーベ(雌)



カンボジアモエギハコガメ
繁殖個体

項目名	役割	行動指針	実施時期
心の癒しを必要とする方へのアニマルセラピー効果の実証	3	1	19年度

概要

札幌市立大学との共同研究により、動物とのふれあいや体験を通じたアニマルセラピー効果の検証を行い、医学的にセラピー効果を必要とする方から不登校児やストレス社会で癒しを求める方までを対象に、円山動物園がもつ癒し効果を実証し提供していく。

<動物とのふれあいや体験の実践>

カンガルーの散歩体験、猛禽類のフライト・鷹匠体験、ウサギ・モルモットとのふれあい、動物病院入院動物観察、園内動物観察

スケジュール

2007年度(平成19年度) 実証実験(6・7・8月) ふれあい体験や動物観察によるセラピー効果の検証
 2008年度(平成20年度) 検証に基づきアニマルセラピー実施計画の策定

参考図表等



セラピー効果をもつふれあい体験

項目名	役割	行動指針	実施時期
障がい者福祉のメッセージを発信するイベントの実施	3	1	18年度

概要

円山動物園を舞台に、障がいのある方の外出機会の確保や社会活動の促進につながるイベントを行う。
あわせて園内のバリアフリー化を進める参考意見を収集するとともに、障がい者福祉への理解が広がるためのきっかけとする。

イベント名「障がい者夜の動物園特別招待日 ハーティナイト」
障がい者団体、養護学校などに呼びかけ、障がいのある方とそのご家族、介護者を閉園後の動物園に無料招待し、ゆったりと夜の動物園を楽しんでいただけるよう「ハーティナイト」を開催する。

【共催】 札幌市円山動物園、札幌市保健福祉局保健福祉部

【協力】 社団法人札幌市身体障害者福祉協会、社団法人札幌市手をつなぐ育成会、特定非営利活動法人札幌市精神障害者家族連合会、札幌市社会福祉協議会、企業ボランティア

スケジュール

18年度実施済

<第1回> 2006年(平成18年)8月10日(木) 17時～20時30分

<第2回> 2007年(平成19年)7月27日(金) 17時～20時30分

参考図表等

--

項目名	役割	行動指針	実施時期
子育て支援のメッセージを発信するイベントの実施	3	1	19年度

概要

円山動物園を舞台に子育て支援のためのイベントを行う。
あわせて子育て中の親への相談指導を行うほか、ボランティアによる三世代交流や地産地消フードメニューの啓発を行う。

イベント名「kids zoo(キッズー)」

子育て世代の親子を対象に、動物園を子育てサロンに見立て、子どもたちには絵本の読み聞かせや昔遊び(お手玉等)のメニューを用意。

親には子育ての不安やストレスを解消すべく、子育てコーチングやアロマセラピー、マッサージなどのレスパイト(息抜き)サービスを提供。

フードメニューは地産地消にこだわり、食育の機会とした。

【主催】 札幌市子育て支援部、札幌市円山動物園、NPO

【協力】 市内飲食店、昔遊びボランティア、企業ボランティア等

スケジュール

19年度実施済

<第1回> kids zoo 2007年(平成19年)5月19~20日

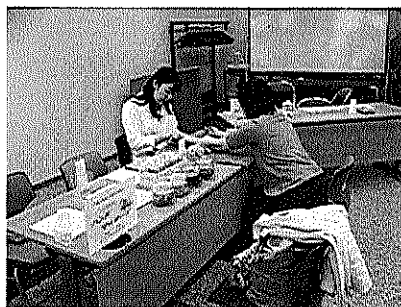
<第2回> kids zoo夏祭り 2007年(平成19年)8月29~30日

<第3回> kids zooクリスマス 2007年(平成19年)12月21~22日

参考図表等



ボランティアと子どもの遊び場



ハンドマッサージのサービス



地産地消の移動販売車

項目名	役割	行動指針	実施時期
生き生きとした高齢化社会のメッセージを発信するイベントの実施	3	1	19年度

概要

円山動物園では、高い飼育技術と快適な飼育環境の整備により、マサイキリンやコンドルなど国内最高齢の長寿動物を数多く飼育している。
 こうした長年飼育動物、高齢動物の健康と長寿を祝うためのイベントを開催し、高齢者がいつまでも元気に生活を楽しんでいただくため、お孫さんと一緒に来園を呼びかけている。

イベント名「どうぶつ敬老の日」

長年飼育動物、高齢動物の看板設置、特別メニューのエサ提供し長寿を祝う

イベント名「カバの誕生会」

長年飼育動物のカバの誕生会を開催し、オカラのケーキをプレゼント

イベント名「カバの歯みがき」

虫歯の日(6月4日)といい歯の日(11月8日)に合わせて、カバの歯みがきを公開し、歯の大切さを啓発

イベント名「突撃パチリサービス」

園内に記念撮影サービスと臨時郵便局を開設、お孫さんからの写真付き敬老祝いハガキを送る

スケジュール

19年度実施済

2007年(平成19年)7月15・16日 カバの誕生会

2007年(平成19年)9月15日 どうぶつの敬老の日

2007年(平成19年)9月15日 突撃パチリサービス

2007年(平成19年)6月3日・11月4日 カバの歯みがき

参考図表等



どうぶつ敬老の日
チンパンジ ガチャ(雌)



カバの歯みがき



カバの誕生会

項目名	役割	行動指針	実施時期
札幌の観光とものづくりを発信するイベントの実施	3	1	18年度

概要

札幌市の代表的なイベントである雪まつりに合せ、冬の動物園を観光資源化するイベントを行う。あわせて園内に札幌のものづくりとブランド化を進める「札幌スタイル」認証商品を展示し、観光客へのPRを行う。

イベント名「円山動物園スノーフェスティバル」

来園者の激減する冬季間のイベントとして、園内で町内会、企業ボランティア、青年会議所ボランティア等の協力により氷のすべり台3基、チューブスライダー1基を設置し、来園者に楽しんでもらうとともに冬の動物たちへの感心を喚起する。

日本山岳会北海道支部によるイグルー制作や動物園ガイドボランティアによる雪だるま制作なども行う。

すべり台会場となる第一レストハウスでは、温かい飲み物などを提供するとともに、札幌スタイル認証商品の展示や体験コーナーを設けPRを行う。

【主催】 スノーフェスティバル実行委員会

スケジュール

18年度実施済

<第1回>2007年(平成19年)2月4~12日

<第2回>2008年(平成20年)2月3~11日

参考図表等



冬遊びを楽しむ子どもたち

項目名	役割	行動指針	実施時期
市民芸術文化のメッセージを発信するイベントの実施	3	1	18年度

概要

円山動物園を舞台に市民による芸術作品を紹介するイベントを行う。
市民参加により動物にちなんだ芸術作品を多数展示するとともに、動物を観察することの楽しさを広め人と動物の関係性を深める。

イベント名「円山動物園芸術祭」

動物をモチーフにした芸術作品は多く、札幌市及び近郊で活動するプロからアマチュアまでの作品(彫刻、絵画、写真等)を園内に展示するとともに、作品づくりを体験できるワークショップを行い、市民が気軽に芸術に触れる機会をつくとともに、これまで少なかったシニア層の来園者増につなげる。
作品には飼育員による動物彫刻や札幌盲学校の児童による手作り作品などが含まれるほか、オランウータン弟路郎の絵画も展示。
期間中は、動物園ボランティアによるハロウィンも行われ来園者を盛り上げたほか、日本氷彫刻会の氷彫刻大会予選が行われた(19年度)。

スケジュール

18年度実施済

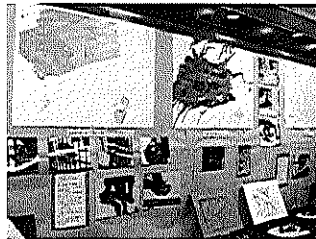
<第1回>2006年(平成18年)10月21~29日

<第2回>2007年(平成19年)10月6~28日

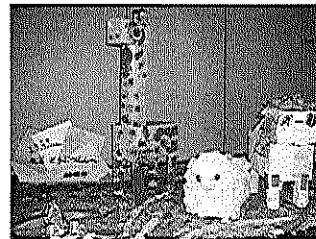
参考図表等



動物の彫刻作品



オランウータンによる絵画



盲学校の児童作品



氷彫刻大会

項目名	役割	行動指針	実施時期
市民ボランティアの発信	3	1	18年度

概要

札幌市における市民ボランティア活動の代表事例として「市民が支え、市民がつくる、市民が主役の動物園」を目指し、これまでも行ってきた動物園ガイドボランティアをより充実させるとともに、イベント、ふれあい指導、園芸・修繕、清掃等の活動全般に市民ボランティアを浸透させていく。

- ・ガイドボランティア
ポイントガイド、ガイドツアー、ニュースレター発行(19年10月時点 登録者数120名)
- ・イベントにおけるボランティア
園内で行われる様々なイベントに実行委員会もしくは個人として参加・協力を行う。
- ・ふれあい指導におけるボランティア
大学生を中心にこども動物園でのふれあい指導や環境教育の手伝いを行う。
- ・園芸・修繕におけるボランティア
錆びた手すりの塗装ボランティアや植樹・植生調査などを行う。
- ・清掃等におけるボランティア
園内のごみ拾いや雑草抜きなどの手伝い、園内のデザインや来園者のための改善箇所の調査など。

スケジュール

- ・動物園ガイドボランティア制度(平成10年4月～継続実施)
- ・イベントボランティア(随時実施済)
- ・ふれあい指導(酪農学園大学学生により19年度実施済)
- ・園芸(小学生と塗装組合により例年実施済)
- ・修繕(植生調査は札幌科学技術専門学校生徒により19年度実施済)
- ・清掃(中学生、高校生等により随時実施済)
- ・園内調査(札幌市立大学生により18年度実施済)

参考図表等

--

項目名	役割	行動指針	実施時期
札幌のものづくりを発信するオリジナルグッズの開発	3	1	18年度

概要

これまでほとんど開発してこなかった円山動物園オリジナルグッズを開発するにあたって、道産素材や地元企業の技術力をアピールできるようにパートナーを選定し、円山動物園とともに札幌のものづくりを広く発信し産業振興に役立てていく。

売上げの一部は動物たちのエサ代として寄付されるため、購買者が動物とのつながりを感じることができる。今後は園外での販路拡大を目指す。

<展開事例>

- ・木のZOO(札幌スタイル認証商品)
社会福祉法人草の実会による道産木材の間伐材を加工したデザイン性の高い安全な動物型積み木
- ・GEL-COOま(札幌スタイル認証商品)
札幌のベンチャー企業による保冷材にGEL素材を使ったホッキョクグマデザイン弁当箱
- ・バターサブレ、飴、豆菓子
道産食材にこだわった札幌のお菓子メーカーの独自技術によるコラーゲン入り高機能食品

スケジュール

随時商品開発を実施

- ・木のZOOストラップ(19年度実施済)
- ・GEL-COOま(19年度実施済・完売)
- ・バターサブレ等(19年度実施済)

参考図表等



手づくりの木のZOOシリーズ



コラーゲンお菓子シリーズ

異例のヒットとなった
GEL-COOま